

民間業者に市道命名権

第1号は「中央病院通り」

戸田市

戸田市は、道路の愛称の命名権を民間業者に与える道路ネーミングライツ事業の第1号として、JR埼京線戸田公園駅東口から戸田中央総合病院へ向かう市道389線を



「中央病院通り」に、第2号として同市美女木東のイオンモール北戸田店の南側に東西に延びる市道783線を「イオンわくわく通り」と命名すると発表した。

市によると、道路命名権は県内では北本市に続き2例目。命名権料は10年契約で、道路1キリ当たり年間79万円。中央病院通りは同30万円、イオンわくわく通りが同61万円。市は道路維持管理費に活用する。

市は、パートナー事業者のPRになり、市や市民との協働のまちづくりにも役立つとして、本年度の新規事業とし

て事業者を公募。命名の適否や地域貢献の期待度などについて、大学教授や町会代表者らによる審査委員会で審査し、同病院とイオンとの契約になった。

関連事業者が出席した契約の締結式で、神保国男戸田市長は「パートナーの事業者の皆さんとともに、これまで以上に地域活性化に取り組みたい」とあいさつ。戸田中央総合病院を運営する戸田中央医科グループ(中村隆俊会長)の中村毅理事長は「父(中村隆俊氏)が開業した54年前は一面の田んぼで、私はドジョウをすくって遊んだ。それをを思つと町の発展を肌で感じる。今後さらに地域に愛される病院を目指す」と話していた。

戸田市道路ネーミングライツの契約締結式で(左から)中村毅氏、神保国男市長、イオンリアルティの浜田和成氏、戸田市役所

(岸鉄夫)